

2018年3月号



一般社団法人
北海道歯科医師会

北海道歯科医師会HP <https://www.hokkaido-shikaishikai.com>

D.NEWS

Hokkaido Dental Association “Doushikai Tsushin”

旭川

ASAHIKAWA

旭川歯科医師会新年交礼会

日時：平成30年1月19日(金) 午後6時30分より
場所：旭川グランドホテル
標記新年交礼会が開催され来賓には、北海道
歯科医師会 藤田一雄 会長、旭川医師会 山下裕

久 会長、旭川薬剤師会 藤澤芳則 会長をはじめ、
多くの重鎮の方々をお招きし、盛大に催した。
また、厚生労働大臣表彰・各賞受賞者の表
彰も行われた。(今宮克明 記)



北見

KITAMI

木曜倶楽部

日時：平成29年12月7日(木) 午後7時30分より
場所：北見歯科医師会館

北見団では、他科との連
携及び親交を深める主旨で
不定期に行なっている「木
曜倶楽部」を開催した。
今回は、北見循環器クリ



ニック 今野 敦 先生をお迎えし「昨今の循環
器学会のトピックと観血処置時の休薬の可否な
ど歯科医が知っておくべき知識」と題し、講
演いただいた。

前半では、北見市の人口構成から将来の人口
構成予測、そこから今後地域で必要とされる医
療や介護等、地域包括ケアシステムのさまざま
な取り組みについて話があった。また、高齢者
のフレイル(虚弱)の一因である栄養不良によ
るフレイル解消に口腔の定期的管理の重要性や
孤食が身体能力の低下等に関係しているため孤
食の防止も重要であるとのことだった。

後半では、抗血小板薬・抗凝固薬について、

適応症や作用機序、抜歯等の観血的処置時PT-
INRが至適治療域にコントロールされていれ
ば内服継続下で抜歯ができるとのことだった。
地域医療のことから明日からの診療に役立
つお話まで、大変有意義な講演だった。(藤井 大 記)

北見医歯薬三師会新年会

日時：平成30年1月20日(土) 午後6時より
場所：ホテル黒部

恒例の新年会が多数の来賓(衆議院議員 武
部 新 様 代理、道議会議員 船橋賢二 様、北
見市長 辻 直孝 様、置戸町長 井上久男 様、
訓子府町長 菊池一春 様、薬会社関係)を迎

えて行われ三師、政治
家の垣根を超えた交流
がはかれた。

「今年はオリンピッ
クイヤー。北見のカー
リングチーム ロコ・ソ
ラーレが参加するので
応援してほしい」と辻
市長が仰っていたのが印象的だった。

また、事前に行われた麻雀大会では、歯科
医師会が上位を優先し、優勝は森山雅史 先生、
最後にビンゴ大会が行われ、新年に相応しい豪
華な景品に大変盛り上がった。(丸子修史 記)



十勝

TOKACHI

平成29年度 歯科医療安全管理体制推進 特別事業「歯科診療所における院内感染セ ミナー(講義編)」

日 時：平成29年12月16日(土)午後3時から午後5時
場 所：十勝歯科医師会館 2F講堂
講演Ⅰ：「スタンダードプリコーションの概念」
講 師：北海道医療大学歯学部

生態機能・病態学系顎顔面口腔外科学分野
教授 永易裕樹 先生

講演Ⅱ：「開業医視点でのスタンダード
プリコーション」

講 師：医療法人社団白水会 木の実歯科医院 院長
袁輪隆宏 先生

北海道歯科医師会主催の院内感染セミナー
が十勝で開催された。忘年会シーズンにもか
かわらず、多くの参加者(71名)が聴講し、今、
話題のセミナーで有名な講師2名が来帯した
こともあり、会員の関心の高さがうかがえた。

曖昧にしがちな感染対策について、開業医
視点でスタッフにもわかりやすく詳しく話され、
経営(コスト)対策、仕事に対するスタンス、
ちょっとした工夫などを教えてくれた。



セミナーの中
で「感染対策を充
実させると自分の
医院、仕事に自信
が持てる。自信を
持って仕事をしたい」という言葉がとて
も印象的だった。

Dr.だけでなく、スタッフの心にもきっと響
いたことだろう。最後には受講証をいただき、
医療監視対策、医院の活性化にもなったと思う。
きっとこれからの仕事に役立つ講習会となっ
たことだろう。(竹重和郎 記)

十勝歯科医師会新年交礼会

日時：平成30年1月6日(土) 午後5時より
場所：北海道ホテル 2F「新雪の間」

新年を迎えて早々の
週末に、恒例行事の十
歯新年交礼会が開催さ
れた。大滝会長挨拶の
後に来賓の米澤 帯広
市長より新年の挨拶をいただき、十勝町村会
会長の高橋 本別町長の乾杯で開宴した。

今年の余興ではバイオリン演者の藤城直子
さん、ピアニスト長崎由美さんをお招きして、
バイオリン・ピアノリサイタルが行われた。葉
加瀬太郎 氏の演奏でお馴染みの「エトピリカ」
や「情熱大陸」などの美しい音楽の調べを聞



きながら、美味しい料理とお酒を堪能した。

また、毎年恒例のビンゴゲームや競馬ゲー
ムも行われ、結果に一喜一憂しながら楽しい
時間を過ごした。

最後に長谷川 十勝技工士会会長の万歳三唱
で閉会となった。忙しい年末年始に準備いた
だいた遠藤担当理事と厚生部員の皆様に感謝
申し上げます。(南館直人 記)

保険講習会

日時：平成30年1月13日(土) 午後5時30分より
場所：十勝歯科医師会館2F講堂

講師：田辺 隆 先生(全国保団連副会長)

全国保険医団体

連合会副会長の田

辺 隆 先生をお招

きし、保険講習会

が開催された。

診療の礎となる療養担当規則の整理、さら
には個別指導対策や平成30年度診療報酬改定
の展望など、多岐にわたって分かりやすく解
説していただいた。

土曜日夕方にも関わらず、ほぼ満席となる
大勢の先生方が出席され、大変貴重な有意義
な会となった。(菱沼直弘 記)

平成29年度 未就業歯科衛生士復職支援セ ミナー 「ブランク衛生士さん復職交流会」

日時：平成30年1月27日(土) 午後2時から午後4時



場所：帯広コア専門学校 講義室および実習室

十勝歯科医師会主催 標記セミナーが帯広で
開催された。例年、十勝歯科医師会館で行われ
ていたが、昨年4月に帯広コア専門学校歯科
衛生士科が新設されたので、最新機器を見学・
実習体験してもら
い、やる気や自信
を持ってもらおう
という趣旨のもと、
場所を変えての開
催となった。

今回、5名の参加者に来ていただき、大滝
会長の挨拶で始まり、十勝の衛生士会の方々
や林 理事に歯科医療の現状や復職に関する
注意点、苦労などについて講演いただいた。

その後、ドクターは退席し衛生士会が中心と
なって、恒例の歯科衛生士だけの女性だけの座
談会が始まった。参加者は復職に対しての悩
みや不安を本音で語り合い、何故かこの時間
が一番盛り上がっていた。あっという間に時間
は過ぎ、実習室に場所を変え帯広コア専門学
校の講師の指導のもと、和気あいあいと最新
機器を見学・体験し、最後に成田副会長の言葉
で閉会となった。楽しそうに満足した様子で
帰って行った参加者はこのセミナーを機にき
つと復職してくれることでしょう。

(竹重和郎 記)



岩見沢

IWAMIZAWA

岩見沢三師会新年交礼会

日時：平成30年1月30日(火) 午後7時より
場所：ホテルサンブラザ

恒例の三師会が医師会の主管で行われた。出
席者は三師会合わせて46名だった。医師会の
竹内文英 新会長、松野 哲 岩見沢市長、渡邊

孝一 衆議院議員、当会
倉増 淳 会長、その他
来賓から、医療介護同
時改定に関する情報・
意見・感想が多く聞か
れ、地域包括ケア構築に向けていっそう協力
していかなければならないとまとめられていた。

アトラクションは北海道教育大学岩見沢校の
学生による演奏で、閉会の辞では当会 谷本主
太 副会長から、「この回に出席するのは29回
目になるが、若い先生の出席も期待する」と



挨拶があった。(久恒泰宏 記)

岩見沢市医師会親睦麻雀大会

日時：平成30年2月2日(金) 午後6時より
場所：スズケン岩見沢支店

数年前から医師会の親睦会の際に当会にも
お声がかかる。この日は当会から高橋博寿 先
生と私 久恒がエントリーし、半荘3回(50分
時間制限)の麻雀大会に参加した。

トップ争いは医師会の古市先生と高橋博寿
先生が抜きつ抜かれつ、迎えた北1局1本場
が流局になったところで高橋博寿 先生がテン



パイ、古市先生はノー
テンのため1,500点が
移動、結果1,100点差
で高橋博寿 先生が再
逆転したところで残り
10秒になったため時間切れを認定、高橋博寿
先生の優勝が決まった。

3位には私 久恒が入り「歯科医師会は麻雀が
強い」と来年も言われることは間違いない。ま
だ参戦したことがない「岩歯の凄腕」にも来年以
降ぜひ挑戦していただきたい。(久恒泰宏 記)

空知

SORACHI

第3回学術講演会

日時：平成30年1月20日(土) 午後4時より
場所：滝川ホテル 三浦華園 ホワイト

「最近増加している小児口腔の問題点と小児
歯科臨床」という演題で、北海道医療大学歯

学部 口腔構造・機能発育学系 小児歯科学教授
齊藤正人 先生に講演いただいた。

1. 発達障害の注意点 2. 小児の歯内治療
3. 歯列不正 4. 最近のトピックと順序立て
て教示いただき、
さまざまな障害に
より、身体的、精
神的な成長を阻害
する可能性につい
て理解し、再認識



できた。

これからの日常臨床において、小児口腔の
問題点と小児歯科臨床を知ることができた有
意義な講演会であった。(伊藤公博 記)

新年会

日時：平成30年1月20日(土) 午後6時30分より
場所：滝川ホテル 三浦華園 雲海

第3回学術講演会に引き続き空知歯科医師
会新年会が開催された。

伊東由紀夫 先生の乾杯でまずのどを潤し、



新入会員の挨拶の
後、厚生委員会で
用意した、ゲーム
(頭の体操・ワイ
ンの利き酒・ピン
ポンリレー等)を
3チームに分け、チーム対抗で楽しんだ。
今年の新年会は「頭の体操」をやっている間、
たいへん静かな新年会となった。(伊藤公博 記)

苫小牧

TOMAKOMAI

平成29年度室歯会・苫歯会合同役員連絡協議会

日時：平成29年11月18日(土) 午後5時30分より
場所：グランドホテルニュー王子 2階 芙蓉の間

標記協議会が今年度は苫歯会が主管で開催された。室歯会からは地域医療介護情報ネットワークシステムの現状と今後、口腔がん検診の状況などが報告され、苫歯会からは、とまこまい介護連携センターについて、苫小牧市内小学校のフッ化物洗口について報告された。また、お互いの事業計画について報告するとともに、今後の取り



組みの一環として、学術講演会等における室歯会と苫歯会の連携についても協議された。

一連の報告、協議のあとは皆さんお待ちかねの懇親会である。加藤苫歯会監事による乾杯の発声で宴がスタートし、協議会の中での発言にくい雰囲気とは違って、アルコールの力も借りながらの活発な意見交換を見ることができた。

なかには4次会まで参加される酒豪まで現れ、室歯会・苫歯会双方の役員にとって濃密な時間を過ごすことができた協議会であったと思われる。次回は室歯会主管での開催を予定している。(関 俊也 記)

平成29年度救急医療講習会

日時：平成29年11月29日(水) 午後7時より



場所：苫小牧市医師会館 3階講堂

1年に1回の標記講習会が本年度も開催された。苫小牧市消防本部から講師3名に参加していただき、人工呼吸、AEDの使用方法をマネキンを使用して実習形式で学習した。

近年、さまざまな施設にAEDの設置が進んでいるものの、実際に必要な時にAEDを使用できる人は少ないと聞く。救命という場面では救急隊到着までにどのくらい初動対応が取れるかによって、その後の生存率に大きく影響すること。我々医療関係者は少なくとも知識を習得し、いざそのような現場に立ち会った場合には率先して対応が取れるよう、日頃からトレーニングが必要であると思われる。

日常の診療室でももちろんのこと、外出先等でも即実践できるような内容の有意義な講習会であった。(関 俊也 記)

平成29年度苫小牧歯科医師会ゴルフ部納会



日時：平成29年12月8日(金) 午後7時30分より
場所：イタリアンレストラン アミーゴアミーガ

雪が少ない胆振西部地区でもすっかり雪に覆われる季節となり、本年度の苫歯ゴルフ部の活動も終了となった。今年度のゴルフ部の締めくくりとしてゴルフ部納会が執り行われた。

豊巻幹事から本年度の活動報告、会計報告、成績報告がなされ、山崎ゴルフ部部長、牛丸苫歯会会長による挨拶の後、鈴木専務理事の乾杯発声で宴がスタートした。今年度のゴルフ部最大のニュースは伊尾明子 先生が第50回北海道歯科医師ゴルフ記念大会で優勝され、2連覇を達成されたこと。平成30年度は帯広での大会が予定されているが、そこで3連覇か？ということも話題に上がっていた。

アルコールを交えながらオフシーズンにおける過ごし方など、ゴルフ談義に花が咲き、あっという間に時間が過ぎるそんな夜であった。(関 俊也 記)



千歳

CHITOSE

千歳歯科医師会新年交礼会

日時：平成30年1月20日(土) 午後6時より
場所：漁川

新年交礼会が、たくさんの会員の参加を得て開催し、高木先生の司会のもと、まずは杉江会長に新年の挨拶をいただき、引き続き河井(芳)先生の乾杯の音頭(実は当日、河井(芳)先生のお誕生日ということで「おめでとうございます!」の発声になった)で宴会が始まった。

しばし歓談の後、今年の余興はWiiを使ったチャンバラ大会! 全員参加のトーナメント方式で、大変、盛り上がったが、見事に勝ち抜いたのは紺藤先生。金一封を手に入っていた。

また、年男によるマリオカート大会も行われ、津田先生、杉江会長、稲垣先生、玉川先生が参加され、玉川



先生が優勝となり、全員には賞品が手渡された。

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、最後は顧問の後藤先生の締めの乾杯で終宴となった。(平山 健 記)

千歯会主催地域医療研修会

日時：平成30年1月26日(金) 午後7時より
場所：エニケンビル3階会議室

千歯会主催地域医療研修会が開催され、「要介護高齢者の口腔ケアの実践とその大切さの確認」と題し、当会地域医療担当理事の青山康彦 先生が講演した。

講演に先立ち、北海道歯科産業株式会社の福田様より、訪問歯科の機材の説明が30分程あり、実物に実際に触れ、体験することができた。

講演内容は、

- ・要介護者の口腔内の現状
- ・ケアに必要な専用ブラシ (くるりーなブラシやモアブラシなど)
- ・ケア時の姿勢 (ファーラー位、セミファーラー位、側臥位)
- ・口腔内のチェック項目 (口腔内、舌の状態、バイオフィームなど)
- ・ケア方法 (鼻の清掃、くるりーなブラシやモアブラシによる清掃、保湿剤の併用例など)

等々で実際にくるりーなブラシ、モアブラシ、



保湿剤を手に取りブラシの感触、保湿剤の味を確認することができた。

クリニックに重篤な要介護者が来院することは少なく、訪問診療向けの内容ではあったが、要介護者がいる家族などにケア方法を教えるときにとても役立つ貴重な講演だった。

青山先生ありがとうございました。(山本孝之 記)

北広島市医科・歯科合同新年会

日時：平成30年1月13日(土) 午後6時より
場所：北広島クラッセホテル

北広島医科・歯科合同新年会が開催され、最初に北広島医師会会長の鈴木先生より「このように医科と歯科が仲良くやっている自治体というのは、中々ないことなので、これからもよろしく願います」と挨拶いただき、乾杯とともに宴会が始まった。

おいしい料理とお酒をいただきながら、しばし歓談、楽しいひと時を過ごした。

そして恒例のビンゴ大会。今年は奥田北広島市歯会会長が断トツの早さでビンゴ! 賞品をGETされた。

最後は奥田北広島市歯会会長のメの挨拶と乾杯で閉会となった。(平山 健 記)

千歳医師会主催学術講演会

日時：平成30年1月24日(水)
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳



札幌

SAPPORO

平成29年度第2回学校歯科研修会「学校歯科生涯研修制度 基礎研修会」

日時：平成29年12月2日(土) 午後3時より
場所：札幌会館大講堂

本研修会は日本学校歯科医会が認定している生涯研修制度の基礎研修会であり、今回から文部科学省の後援を得る形となった。26名の会員が受講され、そのうち2名は初受講だった。学校歯科保健概論、学校歯科保健の保健教育、学校歯科保健の保健管理についての講義の後、学校歯科保健の組織活動について、札幌市教育委員会生涯学習部 保健給食課保健指導担当係長の半澤郁子 氏より講義があった。



研修会終了後、受講者に基礎研修修了証が渡された。(堀井 豪 記)

介護・口腔ケアセミナー(実践編)

日時：平成29年12月8日(金) 午後7時より
場所：札幌会館大講堂

本セミナーは平成29年10月に開催された「札幌市高齢者口腔ケア研修事業」のセミナー(講演会)に引き続き、行われた。はじめに、口腔医療センター企画研修部部長の中澤 潤 先生より「嚥下障害と口腔ケアこれから」と題して講演いただいた後、口腔医療センター障がい者診療部副主任 佐波綾子 歯科衛生士より「口腔ケアの実践」と題して、実践的な口腔ケアの介助に関する講演と、それをふまえての実技実習を行なった。

実習は相互実習をメインとして、口腔ケアの実習を行なったほか、口腔乾燥状態の味覚体験実習も行われた。また、口腔ケアのデモンストレーションや義歯の



着脱方法などをVTRにて分かりやすく説明した。この機会を通じて連携を深める意味でも今後も継続してセミナーを開催すべきであると強く感じた。(高橋一行 記)

末就業歯科衛生士支援リカバリー研修セミナー

日時：平成29年12月9日(土) 午前10時より
場所：札幌歯科学院専門学校

このセミナーは離職中の歯科衛生士の復職への不安を少しでも軽減し、再び臨床の場で活躍していただくことを目的として平成22年度より開催されている。今年度は13名の方が参加され、午前中はスクーリングや歯面研磨実習を行なった。

午後は初めての試みとして、材料取扱い実習・口腔ケア実習・シャープニング実習の中から、2つを選択してもらい、各グループに分かれて行なった。札幌歯科医師会および札幌歯科学院専門学校ではこのようなセミナーを通じて、離職している歯科衛



生士の復職支援に取り組み、歯科医療機関での慢性的なスタッフ不足の解消に少しでも役立ちたいと考えている。(高橋一行 記)

平成29年度救急医療講習会(会員対象)

日時：平成29年12月9日(土) 午後3時より
場所：札幌会館大講堂

北大病院歯科麻酔科より木村幸文 先生、北條敬之 先生、北大大学院歯学研究院歯科麻酔学教室より渋谷真希子 先生、詫間 滋 先生をお迎えして、「救急救命処置について」の講演と実習の指導があった。

講演では詫間先生より、心肺蘇生のガイドライン、BLSの実際の流れ、救急薬剤について詳しく分かりやすく解説していただいた。

その後の実習では4班に分かれ一次救命処置と静脈路確保の実習を行い、3名の希望の方が静脈路確保の相互実習を行なった。(樋口雅俊 記)



稚内

WAKKANAI

新年会

日時：平成30年1月20日(土) 午後5時30分より
場所：車屋・源氏

稚内市内のみ荒れ狂う猛吹雪の中、新年会が開催された。今年の積雪量は稚内といえど昨年より遥かに多い。充分に余裕を持って出発時間を早めたが、到着時間はギリギリであった。集合写真の撮影の後、藤野会長より「いつ



も事業にご協力いただきありがとうございます。今年もご支援よろしく願いたします」と挨拶があった。乾杯後まもなくビンゴ大会が開催され、竹田先生進行のもと、なかなかリーチ! からのBINGO! が聞こえない中、楽しく行われた。

出席者数が10名と寂しい限りであるが、日頃の疑問や情報交換、ちょっとした愚痴も解消

され有意義な時間を過ごし、今年の会務もハリキッテ行いたいと思う新年会であった。翌日の帰宅時にはホワイトアウトで帰宅に3時間半かかった。(三浦佐和子 記)



後志

SHIRIBESHI

新年麻雀大会
日時：平成30年1月6日(土) 午後2時から午後5時
場所：いわない高原ホテル
毎年とんでもない荒天候のなか行われることが多い麻雀大会だが、今年はまずまずの天候で行われた。
西元年男達が絶好調で、上位を独占した去年の麻雀大会から1年、今年も西年組が羽ばたいた。優勝は菊地先生。ぶっちぎ



りで去年に続き連覇を達成した。準優勝は國本先生で2年連続西年ワンツートなった。去年は優勝争いに絡んだ、西年NNコンビはプービー、プービーメーカーに沈んだ。
今年は例年以上に満貫賞が沢山飛び交い、酒も進み楽しい年の始まりとなった。来年は柏谷先生と練合先生の年男コンビが控えており、猪突猛進の活躍が期待され楽しみである。

(長澤 稔 記)

新年会
日時：平成30年1月6日(土) 午後6時から午後8時
場所：いわない高原ホテル
恒例の一人一言では、長澤先生が年末年始に行った沖縄旅行で、ホテルの火災報知器の誤作動で元旦の早朝に家族で避難するという災難な



話があった。ビンゴゲームでは、土方先生がディズニーペアチケット、柏谷先生が紅ずわいがにをゲットした。ビリには景品がないという緊張感の中、井筒先生がビリ決定。しかし、長澤先生から隠し景品の焼肉セットをもらい、井筒先生もほっと胸をなでおろした。(五十嵐 豊 記)
平成29年度 ボウリング部 1月例会
日時：平成30年1月9日(火) 午後9時から午後9時30分
場所：ファミリーボウル岩内
今大会は私、伊藤が幹事として賞品を用意、生の水蛸の足(130cm)一本、サーモン切り身、

小樽ツルヤのよもぎ大福、紅はるか焼きいも5本など、美味しいもの色々セットとなった。優勝は長澤先生、甘味に強い黒田先生と続いた。

(伊藤 純 記)

		①	②	③	HDCP
優勝	長澤	207	185	202	48→44
準優勝	黒田	166	226	196	38→35
1位	中村	205	213	185	41→36
2位	青山	191	198	195	36→34
3位	伊藤	205	131	177	34→42
4位	山田	178	209	212	61→54
5位	井筒	188	204	172	57→56
B B	土方	196	163	161	40→46
B M	土方妻	199	155	146	59→66

HDCPは先月までの平均Aveと今回のAveとで平均Aveを出し200からの80%で算出している。

函館

HAKODATE

第3回 全道歯科医師野球大会実行委員会(函館)
日時：平成30年1月20日(土) 午後4時より
場所：函館歯科医師会館
平成30年6月16日(土)・17日(日)に行われる第69回全道歯科医師野球大会(函館大会)の実行委員会が開催された。当日は、北海道歯科医師野球連盟から鎌田連盟会長・山本連盟理事長・服部常任理事の3名が視察に来られた。
各部報告として式典部・競技部・総務部・広報部より、現在までの進行状況・課題・問題点・



修正点などを報告した。
連盟の先生に直接お話を聞いていただける貴重な機会となり、活発な意見交換の場となり実行委員会は閉会となった。(向山英明 記)
デンタル・タウンミーティング2017 in 函館
日時：平成30年1月26日(金) 午後7時30分より
場所：函館歯科医師会館



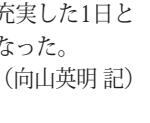
標記タウンミーティングが開催され、北海道歯科医師連盟 大西副会長より開会の挨拶の後、北海道歯科医師連盟藤田会長、函館歯科医師会田嶋会長より挨拶を頂戴した。
報告事項として①今後の北海道歯科医師会における当面の課題 ②中央情勢報告 ③社保・国保合点点数状況 ④北海道歯科医師会平成29

年4月～12月の会務報告 ⑤北海道歯科医師会平成30年2月以降の事業 ⑥北海道歯科医師連盟 ⑦歯科国保を取り巻く情勢と今後の展望 ⑧株式会社道歯企画が報告された。
続いて、「歯科医療ができること」と題し、北海道歯科医師連盟 高橋理事長より30分程度の講演をいただいた。本日、ゲスト参加の逢坂誠二 衆議院議員と佐古市議会議員の両名より挨拶をいただき、今後の歯科界のあり方などを再確認できた貴重な時間となった。

(向山英明 記)

第24回 函館臨床研究発表会
日時：平成30年2月4日(日) 午前10時より
場所：函館歯科医師会館 2F第1講堂
標記は発表会が開催され、午前10時より特別講演「歯周病治療の勘どころ―歯周基本治療から再生治療新薬「リグロス」まで」と題し、渋川歯科医院院長渋川義宏 先生に講演いただ

いた。昼食をはさみ、午後からは6つの一般演題が発表された。①フッ化物洗口への取り組み状況について ②これでカンタン！介護保険の請求方法 ③当科における顎矯正治療 ④適切なカスタムメイドマウスガードについて ⑤骨格的な要因により外科的矯正治療を行った症例 ⑥当科における静脈内沈着鳳の適応症例が発表され、充実した1日となった。



室蘭

MURORAN

室歯野球部納会
日時：平成29年11月25日(土) 午後6時より
場所：哲屋 中島店
今年の室歯野球部の活動を振り返り、労をねぎらう納会が上記日程で行われた。今年の千歳大会では、Aチームは予選リーグで敗退、Bチームは準決勝に進むも惨敗で終わったため、両チームとも悔しい大会となった。しかしながら今大会を振り返り、プレー内容や懇親会での話など大いに盛り上がった。また来年の野球部の体制や活動内容なども話し合われた。年々参加する会員の先生方が減ってきており、チーム編成も難しくなっているがA・Bの2チーム体制で次回大会も参加したいとの声があった。
今回は函館大会であるが、できるだけ多くのメンバーで参加し、野球の成績はもちろん、楽しい野球大会になるように意気込み新たに宴を終了した。(畠山雄一 記)
平成29年度三師会合同学術講演会
日時：平成29年11月29日(水) 午後7時20分から午後8時30分
場所：蓬峽殿 2F黎明の間
上記日程にて三師会合同学術大会が開催された。今回は株式会社中外製薬の協力のもと、室蘭医師会・北海道薬剤師会室蘭支部・室歯会の三師会で医療法人社団北斗病院歯科口腔外科部長の牧野修治郎 先生をお招きし「ビスフォスフォネート系薬剤関連顎骨壊死：歯科における対応の現在」と題し、講演いただいた。
開会の辞が市立室蘭総合病院副院長 整形外科部長 石川一郎 先生よりあり、室歯会の社会医療法人 母恋 日鋼記念病院歯科口腔外科 主任科長 榊原典幸 先生が座長を務め、講演が開かれた。
歯科側からみたビスフォス系薬剤の顎骨壊



死の問題点や、病状や進行の状態、現在のポジションペーパーにおける歯科の外科処置の状況や休業などについて話があった。
出席した整形外科医や内科医の先生、当会の先生、薬剤師からも休業や外科処置に対する質問が多く出された。この問題は診療を行うにあたり身に迫る問題であり、参加していた先生方は真剣な面持ちで話を聞いていた。
北海道薬剤師会室蘭支部支部長の上田 薫 先生より閉会の辞があり講演会を終了した。その後、情報交換会も行われ多くの先生が出席していた。(畠山雄一 記)



平成29年度第10回理事会、忘年会
日時：平成29年12月14日(木) 午後7時より
場所：喜むらぬ
室歯会理事会在忘年会も兼ねて行われた。仲川会長から「今年は執行部も変わり、これから本番となりますが、来年もよろしく願います。今年もお疲れ様でした」と各理事へ感謝と労いの言葉があった。
各理事より会務報告、専務報告、協議事項が話し合われ、スムーズな進行で理事会が進められた。その後、今年の反省点や来年の抱負、苦労話など食事を交えながら大いに盛り上がった。また今年より新たに理事になった先生方も来年へ心を新たにしていた。
非常に有意義な今年最後の理事会を終え各々2次会へと足を運んだ。(畠山雄一 記)
平成29年度合同祝賀会
日時：平成30年1月20日(土) 午後5時45分より
場所：ホテルサンルート室蘭
本年度さまざまな功労賞、お祝いを受けた先生方の合同祝賀会が開催された。本年度は16名の被表彰者のうち11名の被表彰者がお越しくださり、多くの会員の先生がお祝いのため出席された。本来であればもう少し早い時期に行われるところだが、70周年記念式典・祝賀会の行事があり、この時期に行われた。



飯淵副会長の開会の辞で始まり、仲川会長から記念品が一人ずつ被表彰者に手渡され、被表彰者を代表して斎藤康司 先生から謝辞をいただいた。参加者は大きな拍手でお祝いを伝えていた。塚田副会長の閉会の辞で会は終了した。(畠山雄一 記)
平成29年度被表彰者(順不同敬称略)
◎室蘭市功労者表彰 斎藤康司 先生
◎伊達市市政功労者表彰 新田 泉 先生
◎北海道学校保健功労者表彰 岩川直義 先生 三浦義隆 先生 須田倫夫 先生 坂田純一 先生 本田 慎 先生
◎室蘭市教育委員会表彰勤続15年 古谷忠典 先生
◎伊達市立学校歯科医表彰勤続10年 藤原定次郎 先生
◎登別市社会貢献表彰 三國一郎 先生
◎室蘭地区運営表彰(10年) 福田城平 先生
◎平成29年度北海道学校歯科保健優良校表彰 優秀賞 登別市立登別小学校
◎寿会員 卒寿 北村宏一 先生 傘寿 前田迪夫 先生 古希 斎藤康司 先生 金子光則 先生 柴田信行 先生 金本栄一 先生

平成30年一般社団法人室蘭歯科医師会新年会
日時：平成30年1月20日(土) 午後6時30分より
場所：ホテルサンルート室蘭
毎年恒例の室歯会の新年会が、ホテルサンルー

ト室蘭で行われた。来賓に堀井 学 衆議院議員(代理)、山岡達丸 衆議院議員(代理)、青山 剛 室蘭市長、小笠原春一 登別市長、紺野哲也 伊達市健康福祉部長、室歯管内の道議会議員、滝口信善氏、千葉英也 氏、中山智康 氏らを迎え、室歯会会員も含め盛大に開催された。新田専務理事の司会、飯淵副会長の開会の辞により始まり、来賓の紹介があった。

仲川会長は、70周年記念式典・祝賀会が無事終了したことに対してお礼を述べるとともに、「間もなく平成が終わり新しい時代を迎えようとしている。20年後くらいには、ひとり暮らし世帯が4割になるという新聞記事が出ていたが、このような時代にわれわれ歯科医師は何をしなくてはならないのかを考えていく必要がある。また、この地域の医療費の多くが糖尿病や高血圧といった疾患、それにまつわる疾患であり、このことを考えたとき歯科医師ができることはなにかといったことも考えながら進んでいかなくてはならない。それには関係団体や行政の方たちと協力をしていかなければならない。これからも室蘭歯科医師会の活動にご協力いただきたい」と新年にあたり挨拶があった。
青山室蘭市長、堀井衆議院議員(代理)、山岡衆議院議員(代理)から新年の祝辞をいただいた後、小笠原登別市長の乾杯で祝宴が始まった。余興では、今年初めての試みとして、豊浦町で有名なホタテ釣り選手権が行われた。各テーブルから代表者が選出され、制限時間内に活ホタテを何枚釣り上げられるかで争われ、立ったまま釣る人、しゃがみこんで釣る人、寝転んで釣る人など、いかにうまく釣り上げるかを工夫しながら優勝目指して挑戦していた。会場は応援や爆笑する声などが溢れ、大いに盛り上がった余興となった。
上田 薫 北海道薬剤師会室蘭支部支部長の万歳三唱、塚田副会長の閉会の辞で宴を閉じた。(畠山雄一 記)



日高

HIDAKA

新年会
日時：平成30年1月20日(土) 午後6時より
場所：新ひだか町 「静内エクリプスホテル」
新年会に先立ち、午後12時より恒例の麻雀大会が行われた。優勝は鎌田先生だった。



新年会は西川会長の挨拶で始まり、西川会長の北海道社会貢献賞の表彰、麻雀大会の表彰と進み、鎌田先生の乾杯の後、各会員の近況報告や漢字の間違ひ探しなどの

余興ゲームが行われ、最後は山口副会長の乾杯で、お開きとなった。
21名の参加者は、料理に舌鼓を打ちながら楽しんでいた。(原田史也 記)



留萌

RUMOI

29年度第2回 留萌歯科医師会 理事会
日時：平成30年1月27日(土) 午後4時より
会場：ホテルニューホホワイトハウス 会議室

美唄

BIBAI

平成29年度道央北地区役員連絡協議会開催
日時：平成30年2月3日(土) 午後3時より
場所：美唄市内の寿楽

釧路

KUSHIRO

釧路歯科医師会地区代表者情報交換会
日時：平成30年1月20日(土) 午後3時より
場所：釧路プリンスホテル

地区代表者情報交換会が、伊藤理事・高田理事司会のもと、15地区中10地区の代表者と釧歯会理事、計20名の参加で行われた。大島副会長の開会の挨拶で始められ、以下の協議事項について話し合われた。今年度の協議事項として



- 1. 在宅歯科医療連携事業について
- 2. フッ化物洗口の進捗状況について
- 3. 各地域での保健活動と各自治体との連携について

川上宣之 会長の挨拶の後、報告事項として1月13日郡市区会長会議等の会長報告（留歯公益目的支出計画等）、各担当理事報告がされた。協議事項として1）当会70周年記念に関して 2）道北地区役員連絡協議会 3）道北圏域在宅歯科医療連携室 4）訪問用ユニット 5）集団指導、社保伝達講習会 6）総会日程 7）市長選推薦。

道央北地区役員連絡協議会が開催され、北海道歯科医師会からは会長の藤田先生、副会長の西 先生、専務理事の大西先生に参加いただいた。また、岩見沢歯科医師会からは、会長の倉増先生と6名の先生、空知歯科医師会からは会長の南 先生と6名の先生、美唄歯科医師会からは会長の孫先生と5名の役員の先生が参加した。

- 4. 事業所健診について
- 5. 歯科衛生士の雇用問題について
- 6. 地域住民からの電話相談について
- 7. その他

以上7項目について、協議された。

- 1. 在宅歯科医療連携事業については、伊藤理事から報告があった。地方にも相談員を置くことで連携をはかり、今後の地方での連携室の在り方について協議を行なった。活発な質問や意見があり、広い道東でのこの事業の遂行の難しさを感じながら、協力して引き続き地域医療に努めることで一致した。
- 2. フッ化物洗口の進捗状況については、長内理事から報告があった。釧路市内の全校実施の報告を参考に、地方においても広がるように協議を行なった。
- 3. 各地域での保健活動と各自治体との連携について、各地区代表者により、問題点など活発な意見と質問をいただき、話し合いが行われた。
- 4. 事業所健診については、高田理事から現状の報告があった。
- 5. 歯科衛生士の雇用問題について、石本理事から報告があった。
- 6. 地域住民からの電話相談について、石本

その他として1）障がい者歯科保健医療連携推進事業実施の件（保健所より） 2）留萌市功労表彰（学校歯科医）の件 最後は伊東副会長の閉会の辞で終了となった。（野田智久 記）
新年会
日時：平成30年1月27日(土) 午後6時より
会場：友禪

まず、西 先生から道央圏域在宅歯科医療連携室について講演があり、岩見沢歯科医師会、空知歯科医師会、美唄歯科医師会の担当の先生から在宅歯科医療連携の現況報告がされた。西 先生の講演のなかで、欧米には寝たきり老人がいないと紹介され少し驚いた。また、日本の医療の現状が、このままで良いのかと考えさせられた

理事から報告があった。最後に中谷会長の総括の後、辻 副会長の挨拶で閉会した。今後も連絡を密に、地域医療の質の向上に努めていきたいと考えている。（高田敬万 記）
新年交礼会
日時：平成30年1月20日(土)
場所：釧路プリンスホテル
平成30年初めの行事である新年交礼会が開催された。開会に先立ち、ソプラノ歌手 菊地 江 様、ピアノ伴奏 田口 滋子 様による演奏でお祝いいただいた。当会副会長 大島尚久 先生による開会の辞で会が始まり、岡田専務理事による来賓紹介の後、中谷洋司 会長による挨拶で『今年は診療報酬、介護報酬の同時改訂などもあり、大変な年になると思いますが、地域包括連携をしっかりと根付かせていきましょう』と挨拶があった。来賓の挨拶では、釧路市長 蝦名大也 様より、釧路市の小学校におけるフッ素塗布事業が3年がかりで全校実施されるなど、ますます市と歯科医師会の連携を深め、これから地域住民への貢献をお願いされた。釧路市医師会会長 久島貞一 先生にお祝いのご挨拶をいただき、岡田専務理事による新入会

当会会員9名の出席、前会長・顧問 風間泰昌先生の乾杯のあいさつで宴が始まった。各会員の近況報告や韓国平昌冬季オリンピックなどの話題などで終始、和やかな雰囲気では進み、寺西監事の締めめの乾杯でお開きとなった。そして二次会「アンジェ」へ・・・（野田智久 記）



講演終了後には、北海道歯科医師会の先生および各歯科医師会の先生が入り混じっての座席で懇親会が行われ、岩見沢の先生には2次会にも参加していただき大変盛り上がった。（川上譲治 記）

員の紹介の後、釧路薬剤師会会長 田中和紀様から祝杯のご発声をいただいた。祝宴も酣（たけなわ）な頃、佐藤（宏）先生、三本先生の軽快な司会により、三択ゲームが行われた。釧路歯科技工士会会長 清水 寛 様による万歳三唱の後、当会副会長 辻 浩人 先生の閉会の辞により、平成30年の新年交礼会が閉会となった。ちなみに、今年の辻 先生は安倍首相に扮し、山本（誠）先生扮するトランプ米大統領と、白い犬に扮する本間（敦）先生の3人による余興があり、成年という事もあり、「ワンダフル」な1年になることを願って締められた。（岡田泰宏 記）



小樽

OTARU

全国共通がん医科歯科連携講習会
日時：平成30年1月21日(日)
午前9時30分から午後3時50分
場所：小樽市立病院

道歯主催の標記講習会が開催された。日本では死因第一位の「がん」であるので、これから患者さんの数も増え、対応に迫られることも増えてくると思われる。歯科医として患者さんやその家族に向き合い、身体的なことだけでなく、精神的にも適切に対応し、患者さんや家族のQOLを改善することの大切さ、また多職種でチームを組み、患者さんやご家族に対応する大切さを学んだ。

独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター歯科口腔外科医長の秦 浩信 先生に、具体的な症例で歯科のかかわり方や、対応についてとても分かりやすく講義いただいた。

道歯常務理事の小谷 勝 先生からは、「全国がん診療医科歯科連携推進事業」の北海道における、がん医療連携システムについてのお話があった。北海道は土地の面積のわりに連携指定病院が少なく、都市部と農村部の差が大きいそうだ。

終了時には修了証をいただき、中身の濃い講習であった。（請川哲也 記）

新年宴会
日時：平成30年1月27日(土) 午後6時より
場所：政寿司

今年の新年宴会は、サンモール歯科院長・渋谷繁男 先生による司会のもと、開催された。

以下、昨年に引き続き伊藤の私見を交えて報告させていただく。

最初に市村昌久 小樽市歯科医師会会長より開会の挨拶があり、小樽市歯科医師会が発足してから今年で70年、小樽歯科衛生士専門学校が創立してからは今年で52年とのことだった。ところで、間もなく高齢化率38%となる小樽市では75歳以上の高齢者に対し、無料の歯科健康診査を行なっているが、70年前の日本の高齢化率は5%未満、平均寿命は男性で50歳、女性は54歳だった。発足時の先達たちが、現在の高齢化の現実を目の当たりにしたら、さぞかし驚くことであり、まるで不老長寿の国に迷い込んだ感を感じるころだろう。何よりも70年前の平均寿命を来年迎えてしまう伊藤にとって、あまり知りたくない数字ではあった。

森井秀明 小樽市長には、今年も公務でお忙しい中、時間を作っていただいた。小樽市の人口の推移について、毎年2,000人が減少している現実をお話しされ、年間500人が生まれるが1,800人が亡くなり、別に700人が小樽から去っている。やはり、小樽に在住することの利点をさらに増やしていかないと、昨年の広報で私が予想した通りになるのではと危惧している。そこで、単に長寿だけではなく、森井市長のおっしゃる通り、健康を前面に出した健康長寿の街にしていこうこと、そのためにも高齢者の口腔ケアをさらに進めていくのが、最大の目標とすべきところだろう。例えば長生きしても、不健康では「寿」とは言えないのでは…と考える伊藤でした。

阿久津光之 小樽市医師会会長からは、在宅医療および介護歯科医療にICTを使用した情報共有が不可欠であるお話があった。なるほど、これからはICTの時代なのだ！と驚嘆した一方で、あの場にいた先生方の中でこの意味を正しく理解した方は何人いたのだろうか？と言いますのは、Macユーザーの伊藤は、

最初iCTかと思い、いよいよAppleがCTにも手を出したのだと驚きをもって聞いていた。すぐに勘違いだと判明し、今ではITという単語はあまり使われずICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)と呼ぶことが多いとのことで、自分の無知を恥ずかしく感じた伊藤だった。今年も新年宴会の前に麻雀大会があった。一位が細川匡則 先生、二位が館 裕 先生、三位が角谷 淳 先生、四位が諸岡先生という結果になったが、なんと一位の細川先生は、三戦して一度もトップになっていないそうだ。平均すると高得点だということで首位になったとのことだが、一回だけ高得点になっても目を付けられないが、平均して高得点を挙げていると目を付けられるという歯科医師の世界ではあまり嬉しくない出来事を彷彿させる結果だった。

お忙しい中、遅れながらもご臨席をいただいた中村裕之 衆議院議員からはプライマリーバランスについてのお話があった。知識の疎い伊藤には、プライマリーという単語から頭に浮かんだのは国試対策以来のプライマリーヘルスケアという単語であり、それが国政と一体何の関係があるのかと聞き耳を立てていたところ、全くお門違いの財政や予算に関する単語だった。一般会計予算の40%が公債である日本において、プライマリーバランスがマイナスであることはサラ金の借金を他のサラ金から借りて返す末期状態のようなものであり、同時に公債というのは親が子どもに借金するようなもので、子どものお年玉を取り上げる親の如く、いざとなったら国が返済を踏み倒してくる可能性があるものだと理解できた。老後に備えて少しばかり投資に興味を持ちつつも、いつデフォルトされるかわからない公債だけは買わないようにと誓った伊藤だった。恒例となっているバンドの発表がなかった

替わりに、今年はじゃんけん大会が開催された。第1戦の優勝者である坂口先生と第2戦の優勝者である山本先生は、見事にオーセントの食事券を得ることができ、最後の第3戦決勝は熊澤龍一郎 先生、原田雅史 先生そして伊藤の三つ巴の戦いとなった。すでに酩酊状態に近かった伊藤は、第3戦の最初から早く負けて早く座りたいと思っていたが、なぜか勝ち残ってしまい、そのまま優勝してJCBギフトカードを得ることができた！1月から幸先が良いスタートで、このカードを何に使おうか楽しみに帰ったが、翌日に27年間連れ添った電子レンジが寿命を全うされ、カードは小樽のケーズデンキに使用されることとなった。物事は全て偶然ではなく必然である！とは、よく言ったものである。

今年もすでにひと月が過ぎ、すでに2月に入っている。光陰矢の如しとはよく言ったもので、私が昨年の新年宴会の記事を書いてから早一年。このまま、また来年もあつという間にやって来るかと思うと、高齢化が決して他人事ではない気がする。ところで、ある研究データによると人は何かしら物(家、クルマ、宝石、腕時計など)を所有するよりも、何かしら未知の経験(外国を旅行する、スキューバやバンジーを経験するなど)を行った方がはるかに幸福度は高かったそうだ。確かに自分の人生を思い起こしても、国内でも国外でも旅行に行つて色々な経験をしたことは、何物にも代え難い宝物となっている。そして、人生の最後の時を迎えつつあるご老人達に人生のやり残しを尋ねたところ、ほとんど同じ答えだったそうだ。

「もっと冒険すればよかった」（伊藤勝敏 記）

